



一步前進「中学校給食」



文教委員会で全会一致採択に喜ぶ市民（2月24日市議会玄関にて）

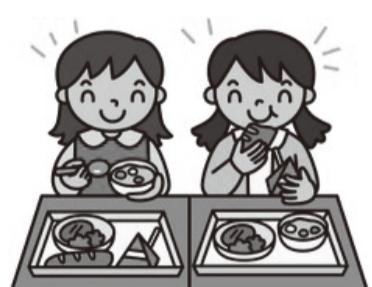
**日本共産党市議団は
実現するまでがんばります**

こんなに低い尼崎市の教育予算

2014年度予算
阪神7市1町の教育費比較表
(教育委員会調べ)

尼崎市	6.7%
西宮市	10.9%
芦屋市	9.4%
伊丹市	9.1%
宝塚市	9.0%
川西市	7.6%
三田市	10.8%
猪名川町	15.6%

※学校耐震化事業等の投資的経費を除く教育費比率



尼崎市の一般会計に占める教育予算の比率は、阪神7市1町では、投資的経費を除く教育費比率が最低です（右表）。学校給食、空調機の整備、公立高校普通科の学区拡大対策など、多くの課題があり、教育水準の向上は市行政で大きな課題です。教育予算比率の引き上げが求められます。

2月28日、本会議で中学給食を求める陳情が全会一致で採択。市議会には陳情とともに日本共産党議員団はこれまで「中学生の昼食の改善、健康づくり、全員喫食は教育の一環」「若い世代の定住・転入促進のために学校給食法に基づく中学校給食を実施すべき」「検討委員会を立ち上げ、スケジュールを設定すべき」と陳情の採択を貫して求めてきました。

二年続きの陳情活動—議会も市長も動く

尼崎市はこれまで「給食の実施は望ましいが、多くの課題があり、ただちに実施は困難」と答弁してきました。しかし2月18日の施政方針で、稻村市長は「保護者からの要望が大きい給食の実施は、財政負担が大きな事業の負担も踏まえながら検討していく」と表明しました。

また、党議員団の代表質疑で、陳情が採択されたことについて、稻村市長の認識をただしました。市長は「中学校給食の実施や空調機の整備は平成26年度の早い時期に一定の方性を示し、財源確保、優先順位、スケジュールを整理したい」と答弁しました。給食実施に向けて一步前進です。

市議会 全会一致で陳情採択 稲村市長も「実施検討」と表明

こんにちは
日本共産党議員団です

152号 2014年3月31日

日本共産党尼崎市会議員団 尼崎市東七松町1丁目23-1尼崎市役所内 Tel 6489-6070

E-mail jcpam-sigidan@hcc6.bai.ne.jp

このニュースは政務活動費で発行しています

ホームページは 日本共産党尼崎市議団 検索

県立尼崎病院 塚口病院跡地も病院として活用へ



2009年10月
塚口病院をなくさないでとパレードを行う

**跡地は病院に
市民の願い強く**

その後、現尼崎・塚口病院のあとに「安心して入院できる」病院建設の要求がおこり、市民と「県立塚口病院の充実と尼崎市及び阪神地域の医療を考える」というものです。

会、日本共産党が力をあわせて、署名活動や申し入れ行動を行ないました。そして今回の事業者募集となつたものです。

住宅エコリフォーム助成

尼崎市は新規事業として、持ち家の省エネ改修工事で、二重窓や壁の断熱改修などを行うエコリフォーム助成制度を創設しました。工事にあわせてエネファームやエコウィルなど創エネルギー機器を設置するときにも補助金が出ます。さらに市内業者が工事を行うと補助額が1.5倍になります。

日本共産党議員団は、一般的な住宅改修も助成対象にするよう、拡充を求めていきます。

市民の願いみのる

塚口病院跡地も病院として活用へ

3月24日、兵庫県は県立尼崎・塚口病院跡に「医療・福祉を展開する事業者の募集」をすると発表しました。

県が跡地の 事業者を募集

県は、尼崎病院を「現存の土地・建物を一括売却」、塚口病院は「更地にして売却か賃貸」としています。そして両病院跡とも内科を中心とする病院整備と介護・福祉施設を含む「健康・福祉・医療の向上につながるもの」を募集の要件としています。

8万の署名が力に 県行革を変える

もともと2008年、県は行革の一環として塚口病院の一部機能を尼崎病院に移す塚口廃

止計画を発表。これに対しても住民から「塚口病院をなくさないで」との要望がおこり、塚口病院存続を求める署名がわずか1ヶ月間に8万筆集められました。

県はこの署名を無視できず検討の結果、「尼崎・塚口病院を統合して新病院を建設する」計画を発表し、県立尼崎総合医療センターを建設することになりました。



2008年9月県議会に提出した塚口病院存続を求める第1次分の署名

視察いかして質問

党市議団は今年1月、市民がお金を出して取り組む、市民共同太陽光発電

所に支援を行っている茅ヶ崎市への視察を生かして、3月議会で質問しました。

市民共同太陽光発電 市「支援方策にとりくむ」

3月議会で党市議団が、「公共施設の屋根や屋上に太陽光パネルを設置できる建物は34棟ある」と指摘し質問すると、当局から「屋根貸しの可能性を調査する」と答弁がありました。

また、未来のこどもたちのために太陽光発電に取り組みたいと考えている市民の方々が集まつてお金を使いまい、公共施設を使わせてもらう「市民共同太陽光発電所づくりに市が支援をしてはどうか」と質問しました。



2014年1月
市民共同太陽光発電所で茅ヶ崎市を視察

皆さんのご意見をお寄せください。



松沢ちづる



川崎としみ



徳田みのる



まさき一子



田村 征雄



辻 おさむ



松村ヤス子